第４学年国語科「愛の心をえがいた物語を読もう　－世界一美しいぼくの村、一つの花－」単元構想図（総時数 13時間）

本単元で必要とされる既習の基礎的・基本的な知識・技能及び考え方

（３年）

「木かげにごろり」
① 場面の移り変わりに注意して読む。
→表にまとめる。
「サーカスのライオン」
② 物語の中心となる人物の気持ちを考えながら読む。

（４年）

「こわれた千の楽器」
③　人物の気持ちを考えて音読の仕方を工夫する。
→サイドラインを引く。
「夏のわすれもの」
④　大切だと思う文を注意して読み、物語の盛り上がりについて考える。
→物語の盛り上がりを線で表す。

【指導計画】

時	主な学習活動・内容	基礎的・基本的な知識・技能及び考え方の活用		活用を促進するための手立て
1	愛の心を描いた物語を読んでいくことを知り、「世界一美しいぼくの村」の大筋をつかむ。 A　登場人物や作品の大筋 B　愛の心を描いた物語 言　登場人物や作品の大筋について話し合う。	④	愛をテーマにした本を読んでいこうとする意欲を高める。	愛の心を描いた本を読み広げることや、物語の出来事の流れを考えることがめあてであることをつかませるために、「夏のわすれもの」が、まさるのおじいちゃんに対する思いの高まりについて書かれた物語であることや、その物語の盛り上がり曲線を描いた経験を想起させる。
2	アフガニスタンやパグマンについて書かれていることを読み取る。 C　作品の設定 （時、場所、人物設定） 言　作品の設定について話し合う。	① A	１場面には、作品の設定が書かれていることを確認し、作品の舞台となっているアフガニスタンやパグマンについて読み取る。	１場面にはどんなことが書かれているか考えさせるために、「木かげにごろり」の１場面の文章を小黒板に書き写して提示する。 作品の設定をとらえさせるために、アフガニスタンやパグマンについて分かることにサイドラインを引かせ、書き込みをさせる。
3	ヤモがさくらんぼを売る場面のヤモの心情や愛の心について読み取る。 D　サクランボを売るヤモの心情の変化、愛の心 言　ヤモの心情の変化について話し合う。	② ③ C	「サーカスのライオン」で登場人物の心情を読み深めた経験をもとに、文章に即して読み取る。	ヤモの心情の変化を読み取るために、ヤモの気持ちが表れている叙述にサイドラインを引かせ、そこから読み取れるヤモの気持ちを書き込ませたり、文頭に心情の変化を表す矢印を入れたりさせる。だれに対するだれの愛かを区別するために、色分けをしてサイドラインを引かせ、書き込みをさせる。
4	チャイハナで食事をする場面の愛の心について読み取る。 E　兄を思うヤモ・ヤモを思う父の心情 言　愛の心について話し合う。	③ C D	作品設定や前場面の出来事を踏まえて、ヤモの心情や父の子を思う気持ちを読み深める。	前時に読み取った叙述に着目させるために、学習した内容を掲示しておき、サイドラインの色分けは、前時同様に行わせる。
5	真っ白な子羊を買って家に帰る場面の愛の心について読み取る。 F　「バハール」という名前に込められた思い、郷土愛 言　ヤモの心情、郷土愛について話し合う。	③ C D E	これまでの学習を振り返り、ヤモの村に対する思いとお兄さんに対する気持ちが高まっていることを読み取る。	「バハール」に込めたヤモの思いを考えさせるために、前時までのヤモの兄を思う気持ちを振り返らせ、サイドラインの色分けは、前時同様に行わせる。
6	物語の出来事の流れをまとめ、最後の一文について考える。 G　物語の出来事の流れ 言　最後の一文が表すものについて話し合う。	④ D E F	「夏のわすれもの」の学習経験を基に、物語の盛り上がりについて考え、一本の線で表す。	物語の盛り上がりを読み取らせるために、「夏のわすれもの」で一人ひとりが作った盛り上がり曲線を提示する。
7 8	読書会に向けて「一つの花」を通読し、愛の心がどのように描かれているかを考える。さらに、「世界一美しいぼくの村」との共通点や相違点について考える。 H　愛の心の描かれ方 I　２つの作品の共通点・相違点 言　愛の心が表れている言葉や文章に対する自分の思いを書く。	D E G	「世界一美しいぼくの村」の学習経験を基に、愛の心が描かれている文章に着目し、「一つの花」における父からゆみ子への愛の心について話し合い、２作品の共通点の一つである家族愛に気付く。	「一つの花」の愛の心がどのように表現されているかを考えさせるために、「世界一美しいぼくの村」と同じ形式のワークシートを準備する。
9 本 時	**共通点・相違点から家族愛に課題を絞り、話し合う。 J　テーマにそった話合い活動 言　「一つの花」の父親の心情について話し合う。**	**C E F H I**	**「世界一美しいぼくの村」でサイドラインを引いたり、ヤモの心情を考えたりした学習経験を基に、「一つの花」の父親の心情を考え、グループや全体で意見を交流する。**	**読書会のイメージをつかませるために、「一つの花」の父からゆみ子への愛の心について話し合わせ、共通点の一つである家族愛に着目させる。**
10 11	読書会を開き、グループごとに課題を決めて話し合う。また、グループで話し合った内容について全体で交流する。 K　読書会 言　課題について話し合う。	J	前時の学習をもとに、「一つの花」を読み深める課題を決め、グループごとに話合い活動を行う。	一人ひとりが意見をもてるように、それぞれのグループ発表に対する感想や意見を書くためのワークシートを用意する。
12 13	「てびき」や「読書のまど」を参考に、愛の心をテーマにした本を選び、各自、選んだ本を読む。 言　読書記録に書く。	B	愛の心をテーマにした物語を読み、描かれている愛や物語の展開について思ったことを読書記録に書く。	愛をテーマにした物語を、できるだけ多く読むことができるように、早い時期から教室に関係図書を準備しておく。